

新城名古屋藤が丘線高速乗合バス「山の湊号」について

1 乗車券利用内訳

区分	通常			回数券 4 枚		回数券 11 枚		往復 企画切符	計
	大人	障がい	小人	大人	小人	大人	小人		
H28	4,999	59	184	1,277	26	-	-	-	6,545
H29	3,601	90	194	8,974	202	-	-	-	13,061
H30	3,596	102	197	8,963	203	-	-	52	13,113
R1	3,627	124	207	8,746	132	-	-	586	13,422
※R2	2,139	27	39	4,303	18	390		441	7,357
R3	3,100	178	93	2,977	37	5,181	17	574	12,157
R4	7,541	70	157	2,535	55	5,096	13	608	16,075
(内訳)									
4月	407	1	11	291	10	658		82	1,460
5月	611	12	13	255	4	689		56	1,640
6月	788	4	20	217	2	516		48	1,595
7月	518	3	13	224	12	578	3	36	1,387
8月	1,077	1	29	93	5	170	3		1,378
9月	1,137	7	4	72	13	152		10	1,395
10月	344	6	8	372	4	637		50	1,421
11月	309	14	16	367	2	563		297	1,568
12月	327	5	16	361	0	604	3	23	1,339
1月	517	6	9	203	2	426	4	2	1,169
2月	1,506	11	18	80	1	103		4	1,723

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月20日(月)～4月28日(火)までは土休日運行、4月29日(水)～6月21日(日)まで運休。

2 乗車人数実績

○月別乗車人数

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	乗車人数	平均人数	乗車人数	平均人数	乗車人数	平均人数	乗車人数	平均人数
4月	1,209	7.6	323	2.3	946	5.3	1,460	8.1
5月	1,199	7.4	-	-	849	4.6	1,640	8.8
6月	1,150	7.2	206	4.1	762	4.2	1,595	8.9
7月	1,171	7.0	625	3.8	1,106	6.1	1,387	7.5
8月	1,416	8.5	490	3.0	934	5.0	1,378	7.4
9月	1,054	6.7	760	4.8	753	4.2	1,395	7.8
10月	1,003	6.2	1,028	5.5	1,138	6.1	1,421	7.6
11月	1,318	8.2	1,215	6.8	1,672	9.3	1,568	8.7
12月	1,120	6.8	712	3.8	1,336	7.2	1,339	7.4
1月	1,071	6.6	555	3.0	913	4.9	1,169	6.3
2月	856	5.6	501	3.0	618	3.7	1,723	10.3
3月	855	5.2	942	5.1	1,130	6.1		
合計	13,422	6.9	7,357	4.2	12,157	5.6	16,075	8.0

網かけは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月20日(月)～4月28日(火)まで土休日運行、4月29日(水)～6月21日(日)まで運休した期間。

3 進捗状況

山の湊号を活用した貨客混載実証事業(新城名古屋藤が丘線貨客混載協議会)

モーダルシフト等推進事業補助金を活用し、新城の農産物等を山の湊号で運搬し、藤が丘中央商店街振興組合を通じて販売するしくみを構築するための実証実験を行った。

高速乗合バス「山の湊号」の貨客混載事業実証実験(1回目)

実施日： 令和4年12月22日(木)

実施主体： 新城名古屋藤が丘線貨客混載協議会

実施内容： ①山の湊号に農産物を積込み(愛知東農協、有機栽培農家)

10:50積込みを開始

②出荷お知らせメール配信

③荷物到着前お知らせメール配信

④山の湊号から農産物の積み下ろし(藤が丘中央商店街振興組合)

⑤事業PRセレモニー

・市長あいさつ

・中部運輸局長あいさつ

・豊橋鉄道株式会社代表取締役社長あいさつ

⑥農産物の販売「しんしろ山の湊市」(藤が丘中央商店街振興組合)

○しんしろ山の湊市で販売した農産物

愛知東農協	有機栽培農家
コンテナ4箱 白菜、キャベツ、ブロッコリー、人参、大根 カリフラワー、きゅうり、白ネギ、サトイモ 自然薯、菌床しいたけ、	コンテナ2箱 方領ダイコン、聖護院ダイコン、サトイモニンジン、 コマツナ、日野菜カブ、ハクサイ、サツマイモ

※コンテナのサイズ:60 cm×40 cm×30 cm

※農産物は、販売開始から1時間程度でほぼ完売の状態となった。

○出荷お知らせメールについて

農産物を積載するコンテナ1つ1つにQRコードを用意し、バスのトランクルームに積み込む際に、タブレットやスマホで読み込むことで、受取先の藤が丘中央商店街振興組合事務所に出荷したことをお知らせするメールが送信される。

バスが名古屋IC付近を通過した際に、もうすぐ到着する旨のメールが自動送信される。

藤が丘駅バス停で荷物を降ろし、藤が丘中央商店街振興組合事務所に運搬し、コンテナから荷物を出す際に、QRコードを読み込むことで受け取り完了をお知らせするメールが出荷者に対して送信される。

○しんしろ山の湊市について

藤が丘中央商店街振興組合が山の湊号の貨客混載の仕組みを活用し、愛知東農業協同組合や有機栽培農家から農産物を仕入れ、販売する特産市。

○運搬費用について

実証実験では、出荷者(愛知東農協、有機栽培農家)が負担、空のコンテナを運送する際には荷受者(藤が丘中央商店街振興組合)が負担することとしている。

○当日の様子

積み込み前のQRコード読み取り



藤が丘駅での積み下ろし



しんしろ山の湊市販売準備



貨客混載実証実験事業開始セレモニー

当日の様子



○新聞各紙の報道

2022年(令和4年)12月23日(金曜日)

新城野菜 名古屋に運び販売

一人も残さぬ貧困脱却

「山の湊号」使い販路拡大へ

新城から新鮮野菜直送

特製おでんなど販売

警戒 厳重

東日新聞 2022年12月23日(金) 10

新城野菜 名古屋に運び販売

一人も残さぬ貧困脱却

「山の湊号」使い販路拡大へ

新城から新鮮野菜直送

特製おでんなど販売

警戒 厳重

新城野菜 名古屋に運び販売

一人も残さぬ貧困脱却

「山の湊号」使い販路拡大へ

新城から新鮮野菜直送

特製おでんなど販売

警戒 厳重

高速乗合バス「山の湊号」の貨客混載事業実証実験(2回目)

実施日： 令和5年1月19日(木)

実施主体： 新城名古屋藤が丘線貨客混載協議会

実施内容： ①山の湊号に農産物を積込み(愛知東農協、有機栽培農家)

②出荷お知らせメール配信

③荷物到着前お知らせメール配信

④山の湊号から農産物の積み下ろし(藤が丘中央商店街振興組合)

⑤農産物の販売「しんしろ山の湊市」(藤が丘中央商店街振興組合)

⑥空きコンテナの回収・受け取りの適正手順化

○しんしろ山の湊市で販売した農産物

愛知東農協	有機栽培農家
コンテナ4箱 白菜、ブロッコリー、人参、大根、きゅうり、サトイモ、さつま芋、菌床しいたけ	コンテナ2箱 方領ダイコン、聖護院ダイコン、サトイモ、ニンジン、コマツナ、日野菜カブ、ハクサイ、サツマイモほか

※コンテナのサイズ:60 cm×40 cm×30 cm

※農産物は、前回同様販売開始から1時間程度でほぼ完売の状態となった。

○前回の実証実験で課題となった、空きコンテナの回収について適正化を図った。

第1回では空きコンテナの回収の現在地の通知を岡崎市内として設定していたが、高速バス自体の到着時刻があらかじめ大まかに予測できることから、新城IC周辺を過ぎたあたりで関係事業者に着通知を送るよう設定変更したことで、事業者が豊鉄バスで待つことなく、スムーズなコンテナの受け渡しができるようになった。また、販売場所の藤が丘中央商店街振興組合、出荷するJA愛知東農業協同組合、有機農業事業者らと調整し、今後は毎月第3木曜日に貨客混載事業を実施することを決め、空きコンテナの回収は実施した翌週の月曜日に回収と設定することで、今後の安定的な出荷品の確保をし、翌月以降のスケジュールを設定した。

空きコンテナの受け取り手順

受け取り



・ 荷物を受け取り後

- ・ スマホでQRコードを読む → ブラウザ起動
- ・ 到着登録ボタンを押す
- ・ 出荷人にメールで通知

輸送コンテナの最適化を図るため最小限の梱包



高速乗合バス「山の湊号」の貨客混載事業実証実験(3回目)

実施日： 令和5年2月16日(木)

実施主体：新城名古屋藤が丘線貨客混載協議会

実施内容： ①山の湊号に農産物を積込み(愛知東農協、有機栽培農家)

②出荷お知らせメール配信

③道中の温度管理

④荷物到着前お知らせメール配信

⑤山の湊号から農産物の積み下ろし(藤が丘中央商店街振興組合)

⑥農産物の販売「しんしろ山の湊市」(藤が丘中央商店街振興組合)

・特産品(季節の果物)の販売実験(★1コンテナ全てをイチゴに 32 パック)

⑦空きコンテナの回収・受け取り令和5年2月20日(月)

○しんしろ山の湊市で販売した農産物

愛知東農協	有機栽培農家
コンテナ4箱(うち1箱はイチゴ) キャベツ、人参、きゅうり、白ネギ、なばな、 こうさいたい、ほうれん草、イチゴ	コンテナ2箱 方領ダイコン、聖護院ダイコン、サトイモニンジン、 コマツナ、日野菜カブ、ハクサイ、サツマイモほか

※コンテナのサイズ:60 cm×40 cm×30 cm

※農産物は、販売開始から1時間程度でほぼ完売の状態となった。

特に特産品のイチゴは、複数組購入される様子もあった。

○道中の温度・湿度管理

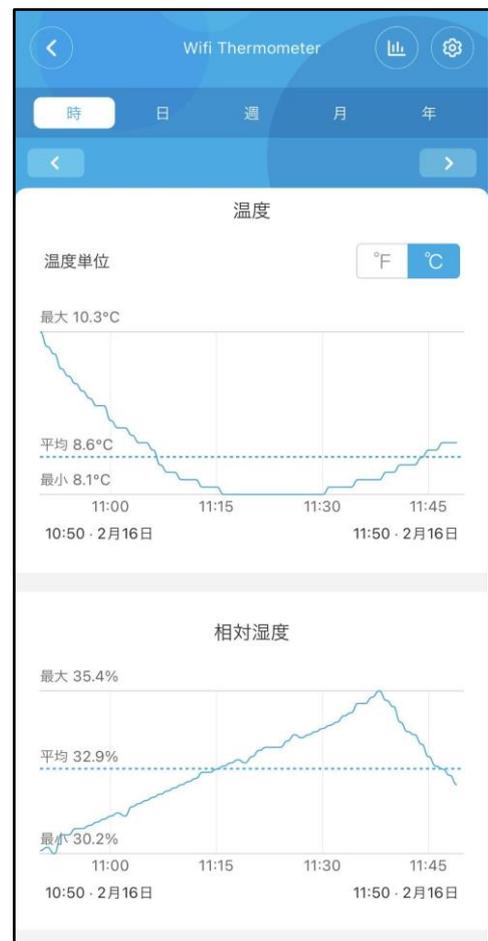
夏季における貨客混載に備え、農作物の品質管理の適正化を図るため、トランク内の環境の把握をするべく移動中の温度管理ができる温度計を備え実験を行った。(右画像が実際の温度・湿度の変化の様子。)

冬季ということもあり、移動中は10℃以下で品質管理がされていることがわかった。暖くなる時期に備え、他地域での事例も参考にしながら農作物等の梱包などにも注意を払いたい。

温度・湿度計



温度・湿度管理の画面



○冬得割キャンペーンの実施

名古屋圏への通勤・通学、通院、買い物や名古屋圏からの観光など、冬場のおでかけのための移動手段として「山の湊号」を体験していただき、新型コロナウイルス感染症により利用が落ち込んでいる公共交通の利用促進を図ること、また、国土交通省中部運輸局が展開している高速道路に接続している道の駅の拠点ハブ化実証事業の一環として運行する「浜松新城リレー号」及び道の駅もつくる新城バス乗り継ぎキャンペーンへの対応を狙いとして実施。

実施期間：令和5年1月23日(月)から2月28日(火)までの37日間

対象者：冬得割キャンペーン助成券をお持ちの方

利用方法：バス乗務員に現金500円と一緒に助成券を渡す。

実績

助成券配布枚数	2,377 枚	1月	2月
利用枚数	1,518 枚	196 枚	1,322 枚

(参考)

助成券利用実績

ゴールデンウィーク割キャンペーン	10日間	412枚
新型コロナウイルスワクチン接種割キャンペーン	30日間	522枚
夏得割キャンペーン	72日間	2,035枚